

## 第 23 回日韓国際シンポジウム開催のお知らせ

2017 年度の日韓国際シンポジウムを下記の日程で開催します。多くの会員の参加を希望します。

日時：2017 年 8 月 26 日（土）9:00～18:00

場所：韓国ソウル淑明女子大学校 100 周年記念館 601 号室

（アクセス <http://www.sookmyung.ac.kr/sookmyungen/1373/subview.do>）

テーマ：「ジャーナリズムの危機と役割、価値」

趣旨

21 世紀に入りデジタル社会の進展とともに、韓国、日本に限らず、世界各国でジャーナリズムの危機が叫ばれている。言論への政治的介入が強まる一方、フェイク・ニュース、ポスト・トゥルースといった社会現象の表出は、さらにジャーナリズム、マス・メディアの信頼性を喪失させる危険性をはらみ、既存のジャーナリズム、マス・メディアへの信頼の揺らぎと表裏の関係あるとも言える。こうした状況に対峙する方策として、いま一度、ジャーナリズムの倫理、哲学、ジャーナリストの価値観、ジャーナリスト教育、ジャーナリズム教育を深層からとらえなおし、その本質を探るとともに、現在の危機的状況を克服できるような討論の場としたい。

9:00～9:30 受付

総合司会 金京煥（韓国言論学会総務理事）

9:30 開会

会長挨拶 文哲秀（韓国言論学会会長）  
佐藤卓己（日本マス・マスコミュニケーション学会会長）

10:00～11:10 日韓共同研究報告

「北朝鮮はどのように『公共の敵』になったのか—日韓国交正常化交渉、帰国事業に関する日韓の日刊紙報道分析」森類臣（大谷大学）鄭寿泳（成均館大学）竹川俊一（立命館アジア太平洋大学）

「地域メディア（新聞・放送）の活性化方案」吳杕泳（嘉泉大学）尹熙閣（釜山外国語大学）

「地域メディアとスポーツ—日韓比較研究」松実明（上智大学）白承嫻（韓国映像コンテンツ振興院）

11:10～12:20 第 1 セッション：ジャーナリズムの危機と役割

「ジャーナリズムの危機と代案：文献研究と専門家インタビューを中心に」鄭義徹（尚志大学）

「日本におけるジャーナリズムの危機と役割」伊藤高史（同志社大学）

討論者： 山中千恵(京都産業大学) 選定中(韓国側)

12:20～13:40 昼食

13:40～14:50 第2セッション：ジャーナリストの倫理、哲学、教育

「組織社会化としての修習記者教育」 宋相根(梨花女子大学)

「権力を監視する週刊誌ジャーナリズムの倫理と哲学～『週刊文春』を事例にして」 小黒純(同志社大学)

討論者： 田中則広(NHK 国際放送局) 選定中(韓国側)

14:40～15:10 休憩

15:10～16:50 総合討論

鈴木雄雅(上智大学)、上記報告者、その他

16:50 韓国言論学会次期会長挨拶

17:00 閉会

18:00 懇親会

※すべて同時通訳が付きます。

※シンポジウム前日のプレイベントとして、以下のスケジュールで、JTBC(放送局)などへの訪問と歓迎夕食会が行われる予定です。

8月25日(金) 15:00 韓国プレスセンター前集合(韓国言論学会事務局からバスを用意します。15時20分に出発します。)

16:00 JTBC(放送局)などへの訪問(その日のニュースアイテムになっているため、参加者は事前登録が必要です。)

18:30 歓迎夕食会(Grand Hyatt Hotel)

<https://seoul.grand.hyatt.com/ja/hotel/home.html>

※一般参加を希望される会員は、国際委員会担当理事 黄盛彬 seongbin@rikkyo.ac.jp までお知らせください。今回は、ホテルの斡旋はございません。お手数ですが、ご自身で手配のほど、よろしくお願いいたします。

※プログラムの内容は一部変更することがあります。最新版は学会ホームページをご参照ください。

(2017年度日韓国際シンポジウム実行委員会)